

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度 第5回相模原市廃棄物減量等推進審議会				
事務局 (担当課)		資源循環部廃棄物政策課 電話042-769-8336(直通)				
開催日時		平成31年2月4日(月) 14時00分～15時10分				
開催場所		産業会館4階 中研修室				
出席者	委員	14人(別紙のとおり)				
	その他	- 人				
	事務局	19人(資源循環部長、廃棄物政策課長他17人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 第3次相模原市一般廃棄物処理基本計画(案)について (2) 平成31年度相模原市一般廃棄物処理実施計画(案)について 3 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

【質疑事項】

< 議題 1 第 3 次相模原市一般廃棄物処理基本計画(案)について >

49 ページの「サブ指標 3 事業系ごみ排出量」は、計画目標年度である平成 39 年度において、単純推計した排出量と計画目標値の比較では、約 7 % も削減するというところで目標達成について危惧している。

事業系ごみ排出量の目標達成に向けては、剪定枝の資源化、事業系ごみの手数料改定、清掃工場におけるごみの展開検査の強化、さらに、マニフェスト制度の導入により計画目標を達成できるよう進めることとしている。

78 ページの「取組の柱 生活排水の適正な処理 実施事業 2」では、ダム集水区域において、公共下水道の整備や高度合併処理浄化槽の設置等を推進するとしているが、51 ページのサブ指標では、「ダム集水区域の公共下水道の整備率」の計画目標値が 100 % になっており、ダム集水区域では、公共下水道のみ整備すると誤解を与えてしまうので、明確な定義を掲載していただきたい。

ダム集水区域における水質汚濁を防止する対策としては、実施事業として公共下水道の整備の推進、高度処理型合併浄化槽の設置の推進、合併浄化槽の普及促進を掲げており、その中から公共下水道の整備率をサブ指標に設定したものであるが、ダム集水区域において公共下水道のみ整備すると誤解を招かないように、サブ指標「ダム集水区域における公共下水道整備率」について算出根拠を掲載する。

ダム集水区域における高度処理型合併浄化槽の整備率の進捗状況について、適宜この審議会に報告していただきたい。

ダム集水区域における高度処理型合併浄化槽の整備率については、適宜報告していく。

85 ページでは、PDCA マネジメントサイクルによる進行管理を行うとされているが、Check(進行管理・評価・公表)の欄にある「毎年度、一般廃棄物実施計画を作成し、進捗状況を評価・検証し、単年度の見込量を設定する」については、Plan(計画の策定)の項目に記載するべきである。

PDCA マネジメントサイクルの記載については整理する。

89ページの「ごみ処理関連データ」の中で横浜市と比べて1人1日当たりのごみ排出量が約100gも多いが原因の分析はしているのか。

各市の数値については、算出方式が異なることもあると考えられるが、基本計画の策定に伴い、今後他市との比較について調査研究していく。

基本計画(案)は、カラーやレイアウトにより、とても見やすく、分かりやすいが、色覚の障害がある方や高齢者の方にも見やすいものとなるようにするべき。

色覚の障害のある方等にも分かりやすい基本計画とする。

パブリックコメントでいただいた意見については、既に基本計画(案)に掲載されている内容もあることから、意見を公表するに当たっては、基本計画(案)の何ページに意見の内容が反映されているのかを記載してはどうか。

標記方法についてはパブリックコメントを所管している部署と調整する。

パブリックコメントは、7人の方から意見の提出があったが、相模原市民70万人の中で7人というのはどうなのか。

前回の基本計画改定時におけるパブリックコメントでは、4人から32件のご意見をいただいた。今回の基本計画策定に係るご意見は、多岐に渡った内容となっている。また、基本計画の策定に当たっては、審議会からの意見を基本に策定していることから、否定的なご意見や新たな視点で付け加えて欲しいといった意見は少なかった。

パブリックコメントでいただいた意見については、基本計画に意見が反映されているというのをもっと見える化してはどうか。例えば、いただいた意見によって基本計画の内容が実行された場合等は、その進捗状況や結果報告するなど行ってはどうか。

< 議題2 平成31年度相模原市一般廃棄物処理実施計画(案)について >

第3次基本計画の初年度である平成31年度の目玉施策は何か。

新しい基本計画で重点事業として掲げている「生ごみ・食品ロスの削減」、「事業系ごみの減量化・資源化」及び「大規模災害への備え」については特に力を入れいく。

また、基本計画の初年度となることから、新たな制度導入のための諸準備を進めていく。

相模原市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	安西 優花	公募		欠席
2	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		出席
3	池田 珠三子	さがみはら消費者の会		欠席
4	猪俣 聡	神奈川県立学校長会議 相模原地区会議		欠席
5	内山 尚美	さがみはらリサイクル連絡会		出席
6	王 文聡	公募		出席
7	大河内 初雄	相模原商工会議		出席
8	大河内 由美子	麻布大学		出席
9	河本 博	相模原市廃棄物減量等代表推進員		出席
10	菅野 泰男	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
11	関 直樹	相模原廃棄物対策協議会		出席
12	落合 幸男	相模原市農業協同組合		欠席
13	坂本 堯則	相模原市自治会連合会	会長	出席
14	成井 マユミ	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
15	原 正弘	神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会		出席
16	藤倉 まなみ	桜美林大学	職務代理者	出席
17	三須 城太郎	相模原地域連合		欠席
18	宮津 敏信	公募		出席
19	山口 弘一	津久井地域不法投棄防止協議会		出席